

# 緑 ネット通信 No.68

## 緑のネットワーク・まつど

代 表：藤田 隆  
 年会費：1000円  
 口座番号：00170-9-696174  
 連絡先：高橋盛男 090-2935-9444

都市の緑を残すには、緑を見守り育む人のネットワークが不可欠です。私たちの活動の目的は「みどり」、特に樹林の保護・保全を願う人やグループと連携し、その輪を広げ、豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることです。

### お知らせとお願い

緑のネットワーク・まつどでは3月以降、新型コロナウイルス感染者数の増加傾向から活動を自粛、4月の松戸のみどり再発見ツアーも中止しました。

5月中旬以降、新型コロナウイルス感染者数の減少により、再び感染を拡大させないために「新しい生活様式」を取り入れ、活動を再開することとしましたが、今回の会報は簡易版とさせていただきます。

次回の再発見ツアーは、中止になった4月と同じコースを10月21日に予定しています。

屋外をウォークする催しですが、マスクの着用、手指消毒、3つの密を避け、人との間に距離を置く心がけが大切です。参加する皆さんのご協力をよろしくお願いします。ツアーの詳細は裏面を参照ください。

お楽しみに！

## コースの見どころ紹介 松戸のみどり再発見ツアー52

10月21日 千駄堀～秋の森を訪ねる 藤田 隆

次回再発見ツアーコースは21世紀の森と広場と隣接して、市内で最も大きいまとまりの緑地のエリアです。北総台地の上では、古くから営まれてきた農の風景を今も携えており、「本当に松戸市内？」と思うような森の小径も！

山林所有者に代わりボランティアが手入れをしている二つの森では、中に立ち入って森を全身で楽しみましょう。

訪問予定のしんやまの森は里やまボランティア入門講座5期の修了生が中心になって森の会を結成しました。森内は昨年(2019)年の台風15・19号の影響



で中折れ、欠損した大径木の処理を中心に園路や森内を整備しています。過去のツアーでは、住宅地では見ることの少ない野草の花を見つけた方からは「貴重な体験ができた」との感想が聞かれました。毎年春のオープンフォレストで、来森者に森を楽しんでもらい、また、同じ新山町会にある八柱幼稚園の園児が毎年春と秋に100名前後訪れ、森遊びをしていく、こうした関係性は整備への力につながっているのではないかと思います。

もうひとつの芋の作の森はしんやまの森の隣といってもよい距離にあります。里やまボランティア入門講座第8期生が中心です。この森の際立った特徴は北側斜面に咲くヤマユリです。森の所有者さんが先代から引き継ぎ大切に育

てきたヤマユリを、森のメンバーが丹念に育て、200本を超えるまで増えました。7月の中旬には観賞会を開き、楽しんでもらいます。今年は7月13日に観賞会を開く予定だそうです。



森はカブトムシ、クワガタにとって良い条件のようで、毎年大量に発生します。植物ではアマドコロ、ワニグチソウ、ヒトリシズカ、カシワバハグマなど珍しい種類が見られます。

今秋の再発見ツアーでは、違った姿で参加者を迎えてくれることでしょう。皆さんの参加をお待ちしています。

(詳細は裏面参照)

## 2020 オープンフォレスト in 松戸 開催中止のご報告

実行委員会事務局 山下正徳

例年通りなら今年で第9回目のオープンフォレスト in 松戸を5月に開催する予定でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症の発生があり共催者である松戸市の対応方針に従い、4月の実行委員会で5月実施を中止するか、又は延期して年度内で実施するか、あるいは今年度の実施は中止するかなど検討の結果、毎年楽しみにして頂いている皆さまには残念な事ですが、今年は感染拡大の防止、参加者の健康上に配慮して「中止」する事にいたしました。

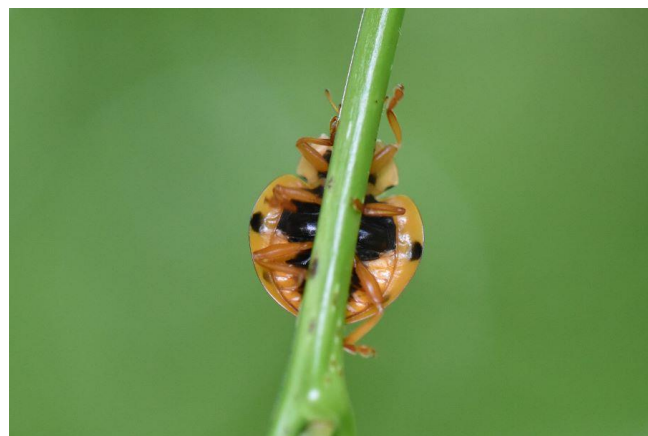
来年以降につきましても森の公開、森めぐりツアーなどは主に屋外でのイベントではありますが、新型コロナウイルス感染症が終息していない中での新しい「森の公開」プログラムを検討実施してまいりますので、これからも皆様方にはよろしくお願いいたします。

～しぜんのコラム 44～

## 腹黒大テントウ

昨年(2019年)の6月3日、千駄堀(21世紀の森と広場)のみどりの里のクワの木で、このあたりでは見かけない、大きなテントウムシを見つけた。それは、西日本に多いハラグロオオテントウであった。このテントウムシは、数年前に神奈川県や東京都で確認されているものの、千葉県ではまだ数例しか記録がない、珍種である。温暖化により北上傾向にあるのかも知れない。さっそく千駄堀を守る会の会報にて、写真入りで紹介したところ、すぐに研究者から確認の電話があった。

そして、今年は6月3日に幼虫と蛹、8日と11日には成虫を千駄堀で確認。どうやら定着したようだ。6～8月頃、クワの木があったら葉の裏をチェックしてほしい。体長は12mm程度で、8mm程度のナナホシテントウより2まわり大きいから間違えることはない。黒い星(●)は全部で16個ある。



ハラグロオオテントウ 2020.6.8 千駄堀

大きなテントウムシということであれば、オオテントウ、ハラグロオオテントウ、カメノコテントウの3種を「日本の三大テントウムシ」と呼んでいる。カメノコテントウは松戸でもオニグルミの木などで時折見かけるが、それ以外は西日本に分布。オオテントウは稀なテントウムシ。ハラグロオオテントウは、オオテントウに似ているけれど、腹部下面が黒いからその名がある。

それにしても“腹黒”とは気の毒な名前。この言葉は、性質が良くないとか、根性が悪いというような意味で使われることが多いが、ハラグロオオテントウはクワの害虫であるクワキジラミやアブラムシなどを食べるから、性悪どころか、まさに“益虫”だ。また、ハラグロオオテントウの黒い腹部下面であるが、それは腹部の一部であって、ナミテントウやナナホシテントウの方が黒い部分の面積は広い。ハラグロオオテントウだけに“腹黒”とは失礼な話である。

(山田純稔)

### 総会報告と新年度ご挨拶

代表:藤田 隆

5月の総会は持ち回りで行いました。今年度の役員は全員再任され、代表を続けていくことになりました。新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況ですが、当会は少しずつ活動を再開し、みどりを大切に思う人が一人でも増えるような企画を進めてまいります。

#### ★松戸のみどり再発見ツアー52(観察学習会 71)

予 告

### 「松戸の秘境・千駄堀～秋の森を訪ねる」

松戸市の真ん中に、こんなところが?!と驚くような緑の多い千駄堀地区。

森の中でじっくりと樹木・野草・森の生き物たちと向き合い、身近なみどりを楽しみましょう。

**10月21日(水) 9:30～12:30 (小雨実施) 参加費300円(会員は100円)**

集合 新京成線 八柱駅 改札口 9:30集合 持ち物 マスク、飲み物、雨具

問い合わせ 090-2935-9444(高橋) その他 歩きやすい服装でどうぞ

**お願い：新型コロナウイルス関連で中止になる場合がございます。事前にご確認を！**